

平成28年度富士宮信用金庫「地域密着型金融推進計画」進捗状況(平成28年9月末現在)

| I. 課題解決支援の取組強化 | | |
|---------------------------------|--|---|
| 取組み項目 | 具体的な取組み | 進捗状況 |
| 1. 顧客の本業支援を推進するためのコンサルティング機能の強化 | | |
| ①みやしんサポート相談室(みやサポ)の活用 | <ul style="list-style-type: none"> ・起業・創業支援についての相談力の強化 ・事業承継・M&A支援 ・課題を客観的に分析した「課題の見える化」の推進 ・富士市産業支援センター(f-Biz)と連携した課題解決への取組 | <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度上半期における、みやしんサポート相談室への相談件数は163件で月平均相談件数27件、新規相談者数は37先で月平均新規相談者数6先となっております。 ・「経営に役立つ設備保全セミナー」を開催(7/21)しました。 ・よろず支援拠点と連携し、「売れる広告づくりセミナー」を1回(21名参加)、「売れる広告づくり個別相談会」を5回(累計21名参加)開催しました。 |
| ②北支店お客さま相談プラザの活用 | <ul style="list-style-type: none"> ・資産運用、保険商品、年金等の各種ご相談に応じ、ライフプランを支援する取組の実施 ・相続、税金問題等の専門家との連携 ・住宅資金・車購入資金等の個人向けローンのご相談に応じた、適切な融資商品の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・「お客さま相談プラザ」を活用し、ライフイベントに応じた資金作り、資産運用等のご提案等を行いました。 ・「お客さま相談プラザ」に専門家を招いて「無料税務相談」(毎月2回)、「無料年金相談会」(毎月第一土曜日)を実施しました。 ・個人の方の住宅ローン・教育ローンなど各種ローンのご相談に応じ、適切な融資商品のご案内、推進を行いました。 |
| ③海外進出支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・海外進出を検討する事業所への情報提供 ・日本貿易振興機構(JETRO)等支援機関との情報交換 ・営業店への情報発信 ・地域特産品の海外販路開拓支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・公益財団法人静岡県国際経済振興会(SIBA)と連携し、海外に販路を求める顧客(2先)に対し個別相談会を実施しました。 |
| 2. 取引先の状況に応じた適切な解決策の提案と実行支援 | | |
| ①経営課題に対するコンサルティング機能の発揮 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域経済・産業の現状や課題を適切に認識・分析 ・中小企業の事業内容・成長可能性などを適切に評価 ・目利き能力・コンサルティング能力の更なる向上 ・外部専門機関の機能を積極的に活用 | <ul style="list-style-type: none"> ・当地区の主な産業について、四半期毎に景気動向調査を実施し、業種別の動向や地域経済の見通しを把握しています。 ・事業性評価の取組みとして、取引先企業を取り巻く市場の現状や中長期的な見通しを基に、取引先企業の強み・課題を把握し、成長可能性や持続可能性を評価しています。 ・営業店職員のコンサルティング能力向上のために、取引先企業の財務諸表だけでは分からない強み・課題を見つけ、コンサルティングの提案から実行支援まで行えるように、男子職員による、事業性評価シートの作成を実施しています。 ・取引先企業の経営課題に応じては、富士市産業支援センター(f-Biz)、商工会議所等の外部支援機関を積極的に活用しています。 |

平成28年度富士宮信用金庫「地域密着型金融推進計画」進捗状況(平成28年9月末現在)

| | | |
|----------------------------------|---|---|
| <p>②持続可能企業への経営改善・生産向上・体質強化支援</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・取引先のライフステージに沿った支援策の提供 ・担保・保証に頼らない事業性評価を重視した融資支援 ・取引先との経営課題の共有化による経営改善計画書策定支援 ・「経営支援マニュアル」に基づく経営支援活動 ・外部専門家、外部支援機関等の情報提供および連携支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・創業期のお客様には、顧客支援課及び営業店サポート課と営業店が連携し、事業計画の検証を行う等、お客様のライフステージに沿った支援活動を行っています。 ・担保・保証に過度に頼らない事業性評価についての手法を用い、28年4月から事業性評価シートの運用を実施しています。 ・顧客支援課より経営改善計画書策定シート他各種書式を提供し、経営改善計画策定支援を行っています。 ・「経営支援マニュアル」に基づき、経営支援先37先を選定し、対象事業先への経営支援活動を行っています。 ・取引先企業の個別事情に応じて、適宜外部専門家や外部支援機関を紹介し、積極的に連携支援を図っています。地域経済活性化支援機構(REVIC)による成長支援を実施しています。 |
| <p>③抜本的な事業再生に向けた支援</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業再生支援協議会等外部機構との連携による事業再生支援への取り組み ・取引先の状況に応じ、DDS、地域再生ファンド等を活用した抜本的な事業再生支援の検討 | <ul style="list-style-type: none"> ・静岡県中小企業再生支援協議会を利用し、取引先の事業再生に取り組んでいます。平成28年度上期、新規利用実績は1先となっております。 ・取引先の状況に応じて、DDS、地域再生ファンド等を活用した抜本的な事業再生支援の検討を行っていきます。 |
| <p>④円滑な廃業支援</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・経営者の生活再建、地域社会への影響等を総合的に勘案した取引先事業所の事業再建可否の判断 ・取引先事業所の納得性を高めるための十分な説明を踏まえ、税理士、弁護士、サービサー等との連携により債務整理を前提とした再起に向けた方策の検討 ・経営者保証に関するガイドラインの活用検討 | <ul style="list-style-type: none"> ・経営者の生活再建、地域社会への影響等を総合的に勘案し、事業継続の可能性を検証したうえで、再建の可否を判断しています。 ・事業継続が困難であると判断される取引先については、十分な説明のうえ、事業引継ぎ支援センター、弁護士等と連携し、事業譲渡や債務整理を前提とした廃業支援に取り組んでいきます。 ・取引先企業の個別事情に応じて、経営者保証に関するガイドラインの活用を検討をしていきます。 |

平成28年度富士宮信用金庫「地域密着型金融推進計画」進捗状況(平成28年9月末現在)

| II. 成長分野支援等の取組推進 | | |
|---------------------------|---|--|
| 取り組み項目 | 具体的な取り組み | 進捗状況 |
| 1. 取引先事業所の経営革新への取組み支援 | | |
| ①「経営革新計画」承認申請支援 | ・商工会議所と連携した推進 | ・各地域の商工会議所、商工会と連携し「経営革新計画」承認の推進を図っております。 |
| ②地域プラットフォーム専門家派遣事業の活用 | ・公益財団法人静岡県産業振興財団、中小企業再生支援協議会およびミラサポ等を活用した派遣 | ・ミラサポを通じて専門家派遣を5先に行ないました。 |
| ③各種補助金についての申請支援 | ・補助金申請企業への個別訪問や申請補助推進 | ・平成27年度補正ものづくり・商業・サービス革新補助金にて16先に申請支援を行い、4件採択されました。 |
| 2. 新成長分野への積極的支援 | | |
| ①産学官金連携強化 | ・シーズ情報のマッチング ・大学、研究機関と連携した支援 ・川崎モデル知財マッチングを活用した支援 | ・「川崎モデル」を国立沼津工業高等専門学校や静岡県工業技術研究所に紹介し、知財活用の推進を図りました。 |
| ②ファルマバレーセンターからの情報共有 | ・毎月開催される富士山麓産業支援ネットワーク会議参加により、県の新産業集積課を始めとした産学官金から提供される情報の発信 ・ファルマバレーセンターが毎年発行する地域企業紹介誌へ取引先企業の掲載を促進、ビジネスマッチングの機会充実を図る ・総合特区利子補給制度の顧客への周知を徹底、利用促進の推進 | ・ファルマバレーセンターからの情報を営業店を通じ、地域の顧客に発信しております。 |
| 3. 農業分野への支援 | | |
| ①農業経営アドバイザーを中心としたアグリ商品の推進 | ・アドバイザー4名を中心とした農業関連事業者への経営指導とアグリ商品(アグリサポート/ハーベスト)の推進 | ・平成28年7月、日本政策金融公庫農林水産事業が開催する農業経営アドバイザーミーティングへ参加し、農業支援の事例研究や情報交換を行い、事業者への支援活動に活用しております。 ・平成28年度上半期、アグリ商品として、アグリサポート2先3,700千円、農業近代化資金3先9,770千円の融資取り扱い実績となっております。 |
| III. 地域金融機関としての特性の発揮 | | |
| 1. ビジネスマッチング・商談会の推進 | | |
| ①ビジネスマッチングによる販路開拓 | ・各種展示会、商談会、異業種交流会等の参加者募集 ・ガイドブック等を活用した取引先事業所の販路開拓支援 | ・取引先事業拡大のため、各ビジネスフェア、商談会への参加者を募集しました。 「第11回しんきんビジネスマッチング ビジネスフェア2016」4社の出店決定 「第14回ビジネスフェアしずおか2016」2社の出店決定 「食&農こだわりの逸品展示会2016」14社の出店決定 「富士山麓ビジネス商談会」発注企業1社、受注企業8社商談決定 |

平成28年度富士宮信用金庫「地域密着型金融推進計画」進捗状況(平成28年9月末現在)

| 2. 地域商店街と連携した地域再生への参画 | | |
|-----------------------|--|---|
| ①商店街主催催事への参画 | ・富士宮商店街連盟等の催しに参加 | ・神田商店街主催「まちゼミ」に参画し、「親子で学ぶ金融教室」、「振り込め詐欺被害ゼロ」を開催しました。 |
| ②空き店舗対策推進 | ・富士宮市、富士宮商店街連盟、富士宮商工会議所、みやしん地域振興協力基金、当金庫の5者連携による中心市街地活性化支援活動の実施 | ・平成26年4月より、左記の5者が連携して取り組んでいる富士宮市空き店舗対策事業の一つとして、公益財団法人みやしん地域振興協力基金は「富士宮市商店街空き店舗の賃借に関する賃借料補助金事業」を実施しています。 平成28年9月末までに8先に対して富士宮市からの補助金交付が決定し開業、この8先から富士宮商店街連盟に対して家賃補助申請があったため、同連盟は、みやしん地域振興協力基金が「富士宮市商店街空き店舗の賃借に関する賃借料補助金事業」の原資とするため平成26年9月に交付した助成金から、家賃補助を行っています。 |
| ③商店街活性化推進運動 | ・全役職員による「外へ出よう街を歩こう運動」の実施 | ・商店街活性化推進運動(全職員による商店街訪問運動)を4月～6月に行い、同時にアンケート調査も実施し、取りまとめた資料を市役所商工振興課や商店街連盟に資料提供しました。 |
| 3. イメージアップに向けた取組強化 | | |
| ①イメージアップ戦略の強化 | ・次世代との取引強化の為、人気キャラクターのアンパンマンを活用し、子育て世帯のみなさまへ金融を通じた「ライフプラン」の解説など金融知識の啓蒙活動を実施 ・地域のみなさまが集まる寄り合い処等へ訪問し、「振り込め詐欺被害」の未然防止策、及び「預手プラン」の解説を実施 | ・社会福祉協議会と連携し、子育て世帯のみなさまへの金融知識の啓蒙活動を実施、子育てサロン代表者会議に出席しました。 ・子育て支援の取り組みとして、平成28年8月1日、富士宮市と「ふじのみやべビーステーション(ベビステ)事業協力に関する協定」の締結を行い、北支店とお客さま相談プラザは「ベビステ」として認定されました。粉ミルク用のお湯の提供、おむつ交換可能設備の整備、子育て関連情報の発信等を行っています。 ・警察署、社会福祉協議会、生涯学習推進会などの外部機関と連携し高齢者とその家族を対象とした「振り込め詐欺」等の金融犯罪未然防止活動を行い、預金小切手活用プランの解説など金融機関ならではの知識を生かした取り組みを行いました。 ・富士宮市と協働し、毎月第一土曜日に、お客さま相談プラザにてライフステージに応じた貯蓄方法、上手なローンの活用方法等を内容としたセミナーを開催しました。また、富士宮市内中学校PTAのみなさまに金融講座(ライフプランと教育資金)を実施しました。 |
| ②地域貢献・社会貢献活動への積極的な参加 | ・地域内スポーツ催事へのボランティア派遣 ・公益財団法人みやしん地域振興協力基金を活用した地域振興事業への助成 | ・平成28年度は37先の団体に対して8,340千円の助成を決定しました。そのうち、平成28年9月末までに9先に対して2,830千円の助成金を交付しました。 ・平成29年2月には自主事業として講演会を開催する予定です。 |
| ③金融教育活動への取り組み | ・親子で学ぶ金融教室実施 | ・平成28年8月、富士宮市大宮町の神田商店街で開催されたまちゼミにおいて「親子で学ぶ金融教室」を実施しました。 ・平成28年12月には、市内の児童クラブの児童を対象に「みやしん金融教室」を実施予定です。 |